

## 県産農産物の抗酸化能評価

県産農産物のブランド品目の抗酸化能（ORAC総量値）は、サンショウ果実と葉、小豆種皮、黒大豆種皮の値が高い。

### 内 容

抗酸化物質は、生体内で過剰な活性酸素から細胞を守る働きを持ち、食品からの摂取が健康の維持に重要なことから、農産物の抗酸化能評価への期待が高まっている。そこで、抗酸化性の新たな指標である酸素ラジカル吸収能の評価手法（ORAC法）を用いて、県産農産物のブランド品の抗酸化能を評価した。

各農業技術センター（加西市、朝来市、南あわじ市）で栽培した県産農産物（10品目）の抗酸化能は、水溶性成分の抗酸化能（H-ORAC値）と脂溶性成分の抗酸化能（L-ORAC値）の総量（新鮮重量1g当たりの抗酸化物質当量（ $\mu\text{mol Trolox}$ 当量/g）に換算）として図に示した。ポリフェノール類やビタミンCなどの水溶性抗酸化成分と相関の高いH-ORAC値は、調査した県産農産物の中ではサンショウ果実と葉、

小豆種皮、黒大豆種皮が高かった。一方、脂溶性抗酸化成分と相関の高いL-ORAC値は、サンショウ果実と葉、黒大豆子葉、小豆子葉が高かった。

このことから、県産農産物の抗酸化能（ORAC総量値）は、サンショウ果実と葉、小豆種皮、黒大豆種皮の値が高く、抗酸化能の高い県産農産物の特徴（優位性）としてPRに活用できる。

### 今後の方針

県産農産物の有する機能性について、品種、栽培条件、加工・流通条件の違いによる影響、さらには機能性を保持・向上させる技術について研究を進めていき、機能性を生かす栽培、需要開拓や加工品開発等のブランド推進方策につなげていく。

廣田 智子（北部 農業・加工流通部）  
（問い合わせ先 電話：079 - 674 - 1230）

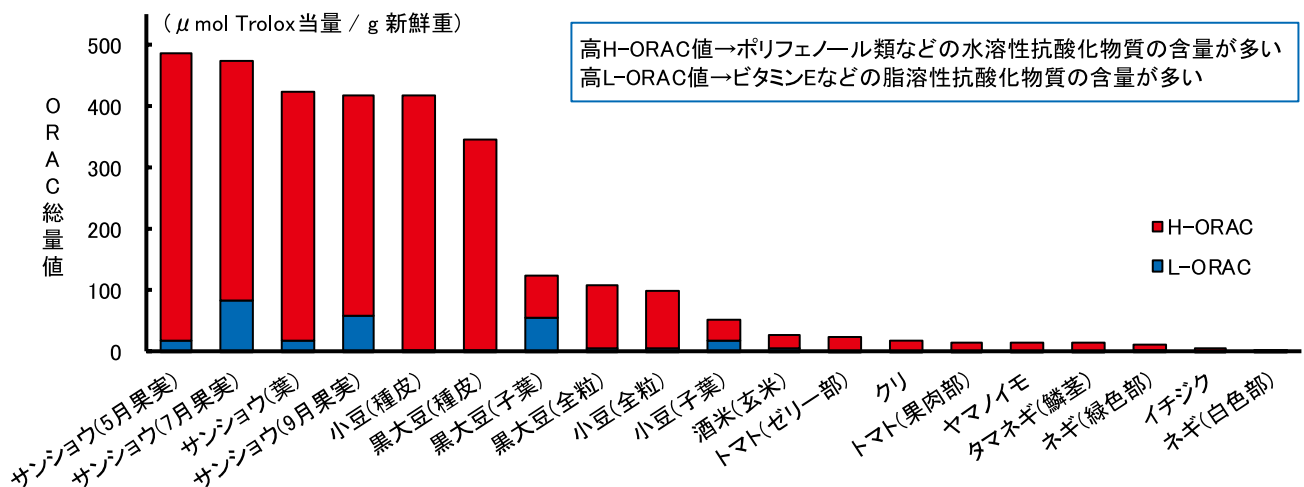


図 県産農産物の抗酸化能 (ORAC総量値)  
抗酸化能はORAC総量で示し、新鮮重量1g当たりの抗酸化物質当量（ $\mu\text{mol Trolox}$ 当量/g）に換算した